

明治大学 専門職大学院 法務研究科
教育課程連携協議会（第7回）議事録

日 時：2026年1月22日（木）17時30分～19時20分

場 所：Zoomを使用したオンライン開催

出席者：

<委員>

東京弁護士会 梶嶋裕之 弁護士

株式会社日立製作所 法務本部 飯田浩隆 部長

明治大学法曹会 幹事 菊川洋 弁護士

明治大学法学部 岡田洋一 専任教授

明治大学専門職大学院法務研究科 専攻主任（カリキュラム委員長） 手塚明 専任教授

<オブザーバー>

明治大学専門職大学院法務研究科 研究科長 工藤祐巖 専任教授

明治大学専門職大学院法務研究科 専門職大学院委員（入試・奨学金委員長） 受川環大 専任教授

<事務局>

明治大学教務事務部専門職大学院事務室 長谷川滋、寺土博昭、鬼丸禎子

配付資料

資料1 前回議事録（教育課程連携協議会（第6回））

資料2 専門職大学院教育課程連携協議会規程

資料3 明治大学専門職大学院法務研究科 教育課程連携協議会 委員一覧

資料4 法務研究科入学試験結果（直近5年分）

資料5 令和7年法科大学院別司法試験合格者データ（合格率順）

資料6 2025年（令和7年）司法試験結果概況

資料7 司法試験合格と在学中のGPAとの相関関係について ※取扱注意

資料8 2026年度カリキュラム改定に伴う変更点について

はじめに、オブザーバーの工藤法務研究科長から、新任委員である岡田洋一法学部専任教授及び事務局の鬼丸禎子専門職大学院事務室法務研究科担当の紹介があった。

次に、資料1に基づき、前回議事録の確認依頼があり、修正すべき点等がある場合は事務局までお申し出いただきたい旨の案内があり、その後、議事に入った。

1 委員長及び副委員長の選出について

工藤法務研究科長から、資料2・3に基づき、本協議会の委員長として、梶嶋委員を指名したい旨の説明があり、梶嶋委員はこれを受任した。続いて、梶嶋委員長から、同条に基づき、本協議会の副委員長として、手塚明委員を指名したい旨の説明があり、手塚委員はこれを受任した。

2 2026年度入試結果について

オブザーバーの受川専門職大学院委員（入試・奨学金委員長）から、資料4に基づき、202

6年度入試結果について説明があり、その後、意見交換を行った。

- 入試成績と入学後の成績の相関関係について
- 志願者数増加の要因について
- 2025年度入学者とそれ以前の入学者との違いについて

3 令和7年司法試験の結果について

事務局から、資料5～7に基づき、令和7年司法試験の結果について説明があり、その後、意見交換を行った。

- 司法試験の結果において特に重視するベンチマークについて
- 在学中受験合格率と修了1年目までの合格率について
- 短答式試験の合格率について

4 本法務研究科の教育のあり方に係る検討状況について

手塚副委員長から、資料8に基づき2026年度カリキュラム変更について、また、本研究科における司法試験CBT化への対応状況について説明があり、その後、意見交換を行った。

(1) 2026年度カリキュラム変更について

- 3年次秋学期授業運営について
- 司法試験に合格していない修了生へのサポートについて

(2) 司法試験CBT化対応について

- 学内試験における生成AIへの対応について

5 法科大学院の教育課程に対する意見・要望について

椛嶋委員長から、議題1～4の中で触れられていない意見や要望等があれば、広く発言を願いたい旨の説明があり、意見交換を行った。

- 司法試験受験以外の進路先とそのサポートについて

6 その他

工藤研究科長から、本年度末をもって、研究科長2期目の任期が満了となること、また、手塚副委員長が次期研究科長候補者に決定したことについて報告があった。

以上のとおり協議を行った後、椛嶋委員長は閉会を宣した。

以上